

平成28年度 内閣府「青少年意見募集事業」の結果について(概要)

テーマ

2050年のわたしたちを取り巻く環境のために、いま何が必要か

中央環境審議会総合政策部会事務局
平成29年12月

青少年意見募集事業の概要

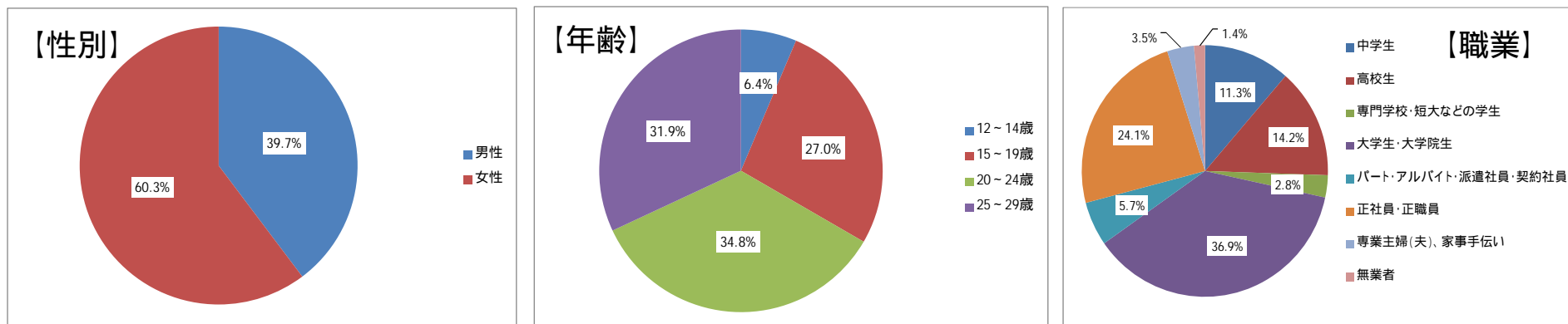
青少年意見募集事業とは
内閣府青少年企画担当の事業。青少年に関する施策をより充実させるとともに、青少年の社会参加意識を高めるため、中学生から20代を「ユース特命報告員」に任命し、社会の様々な課題について、どのように思っているか意見を募集している。平成28年度第4回募集にて環境省提案を採択し、意見募集を行った。

意見受付期間

平成29年1月10日(火)～1月29日(日)

回答者数

男性:56名、女性:85名、合計:141名(回答率51.1%)



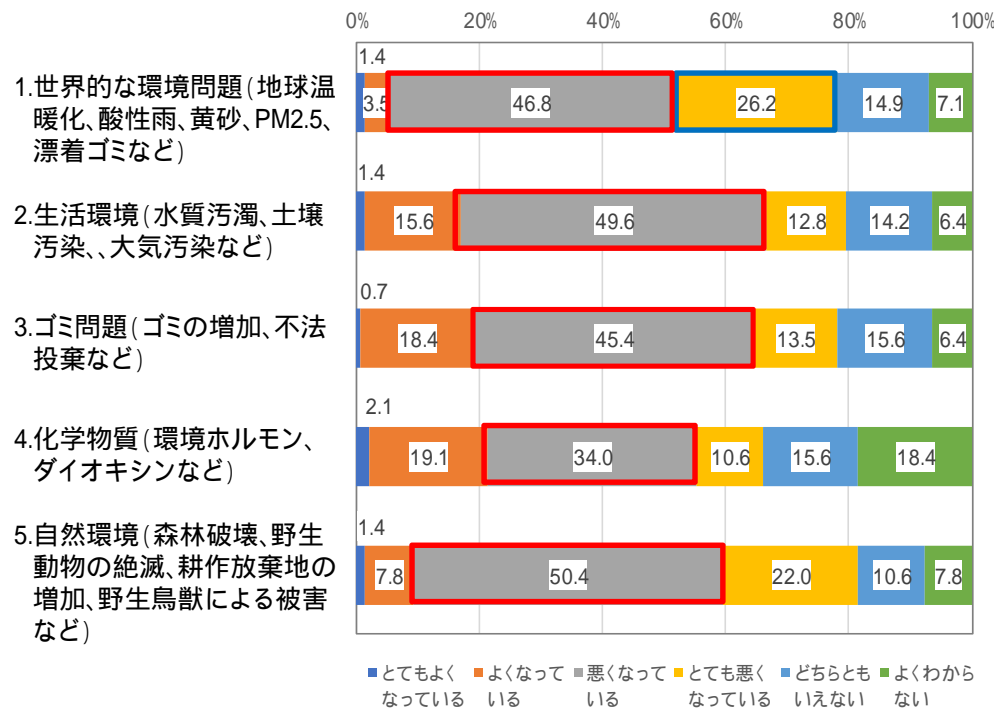
設問

- 質問1 いま、地球の環境はよくなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
- 質問2 わたしたちの身近な環境を守り、受け継いでいくために、国内でどのような解決方法をとっていくべきと考えますか。
- 質問3 地球温暖化対策など、わたしたちの身近なところだけでは解決できない、地球規模の課題に対して、我が国としてどのような解決方法を提案できると思いますか。
- 質問4 「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の目標(ゴール)の中で、あなたがもっとも大切だと思うものは何ですか。
- 質問5 2050年の環境を守る上で大切な取組は何だと思えますか。

問1 いま、地球の環境はよくなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか

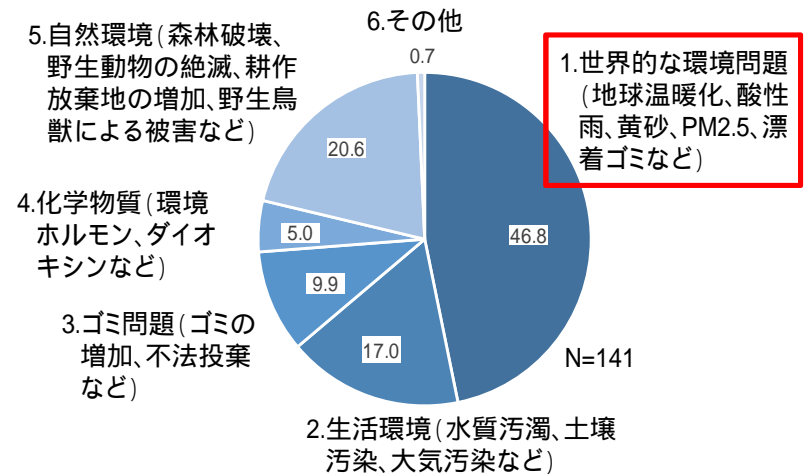
- 5つの課題すべてにおいて、地球の環境は「悪くなっている」の割合が最も大きく、3割強から5割を占めている。さらに、「世界的な環境問題」では、「とても悪くなっている」も26.2%を占めている。
- いちばん重要だと思う課題は、「世界的な環境問題」が46.8%を占めており、その理由としては、「日本だけでは解決できない問題だから」が20.6%で最も多かった。

いま、地球の環境はよくなっていると思うか、悪くなっていると思うか。(課題別)



N=141

いちばん重要だと思う課題



その理由

日本だけでは解決できない問題だから	20.6%
身近で、生活と密接に関係があるから	17.7%
地球環境に関わるから	14.9%
温暖化が、様々な問題と関係があるから	11.3%
健康被害がおきているから	9.2%
環境破壊による被害が現れているから	9.2%
増加傾向にあり、避けては通れない	5.0%
深刻で最優先で取り組むべき	3.5%
その他	9.9%

問1 いま、地球の環境はよくなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか

最も重要だと考える環境課題とその理由

【世界的な環境問題(地球温暖化、酸性雨、黄砂、PM2.5、漂着ゴミなど)】

- 特に地球温暖化は深刻な問題だと思う。これらの問題は1国の努力で改善されるものではなく、世界中の国が協力していかなければならない。よって簡単に解決するものではなく、世界中が歩調を合わせなければならぬので難しいと思うから。



男性/20歳/大学生・大学院生



男性/14歳/中学生

【世界的な環境問題(地球温暖化、酸性雨、黄砂、PM2.5、漂着ゴミなど)】

- 今、解決への道筋を立てていかなければ次世代の人々が暮らす地球が壊れてしまうから。完全に元に戻すというのはとても長い年月がかかるから。

【生活環境(水質汚濁、土壌汚染、大気汚染など)】

- 地球規模での環境汚染防止は重要な課題である一方、私たちの生活に直接関わる問題から対策を講じるべきであると思うから。問題がより身近である方が、アクションを起こしやすいと思う。



男性/23歳/大学生・大学院生



男性/23歳/正社員・正職員

【ゴミ問題(ゴミの増加、不法投棄など)】

- 一番私たちの生活に身近な問題であり、また同時に私たちの言動によって改善できる問題であると考えため。

【化学物質(環境ホルモン、ダイオキシンなど)】

- 日常生活のなかで、化学物質が使われている生活用品を知らず知らずのうちに使っていることが、世界規模の環境問題、生活環境の問題、ゴミ問題、自然環境の悪化に繋がり、環境汚染を招いていると考えるから。



女性/27歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員



女性/28歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員

【自然環境(森林破壊、野生生物の絶滅、耕作放棄地の増加、野生鳥獣による被害など)】

- 人間に直接関わってくる他の問題に比べ、野生生物など自然環境の問題は軽んじられていて、他の問題より将来的には事態が悪化していくように思えるから。

問2 わたしたちの身近な環境を守り、受け継いでいくために、国内でどのような解決方法をとっていきべきと考えますか

- 最も優先度の高い解決方法は、「法律等による環境保全対策制度の強化」が23.4%と最も高く、次いで「地球温暖化防止、循環型社会形成等に関する計画を守ることの徹底」が11.3%である。
- 理由は「法律で定める」が23.4%と最も高く、次いで「環境保全、保護への取組み」19.9%となっている。

最も優先度の高い解決方法



その解決方法の優先度が最も高いと考える理由
(複数回答)



問2 わたしたちの身近な環境を守り、受け継いでいくために、国内でどのような解決方法をとっていきべきと考えますか

最も優先度の高い解決方法とその理由



女性/21歳/大学生・大学院生

【法律等による環境保全対策制度の強化】

- 正しい知識をもとに整備された法律等による規制が、一番即効性があると感じた。

【基本計画等による今後の環境政策の理念と道筋の提示】

- まだまだ国際的なターゲットへの貢献に資する法制度や戦略目標、具体的な施策が充実していない。



男性/21歳/大学生・大学院生



女性/14歳/中学生

【地球温暖化防止、循環型社会形成(3Rの推進)等に関する計画を守ることの徹底】

- 地球温暖化が原因で様々な問題が起こっており、将来の私たちを救うために取組を行わなければならないと思ったから。もう壊した環境は元に戻すことはできないけど、更に悪化するのを阻止するのが大切な事だと思う。

【事業者が行う環境保全の取組みに対する支援】

- 法律への規制ではなく、支援によって促進したほうが事業者にもプラスにインセンティブが働く。



女性/22歳/大学生・大学院生



男性/22歳/大学生・大学院生

【国民・NPO等が行う環境保全の取組みに対する支援】

- まずは、国民の意識改革が必要だと思う。企業へアプローチしたほうが最初のインパクトは大きいかもしれない。しかし、環境問題に対して何かしらの取組をしている企業が評価される社会を形成しないと、持続性がないと思う。

【環境税等のグリーン税制(環境負荷の代償に応じた課税・減税)の導入】

- 「環境に優しい暮らしをすれば、経済的にも優しい」という論理であれば、民間にも受け入れられやすいのではないかと感じたから。また、新型製品への買い替えや設備投資に繋がり、ひいては内需拡大も見込めると感じた。



男性/26歳/パート・アルバイト
・派遣社員・契約社員



女性/18歳/高校生

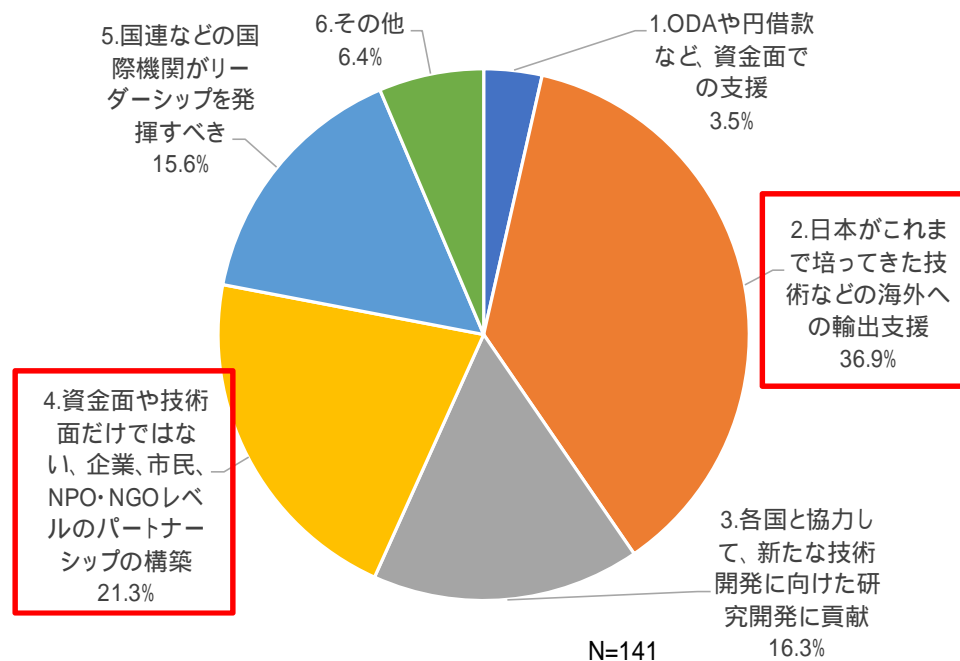
【環境教育や普及啓発活動の推進】

- 将来を担っていく世代に環境教育をすることで、環境を考慮した開発を進めていくことができると思った。

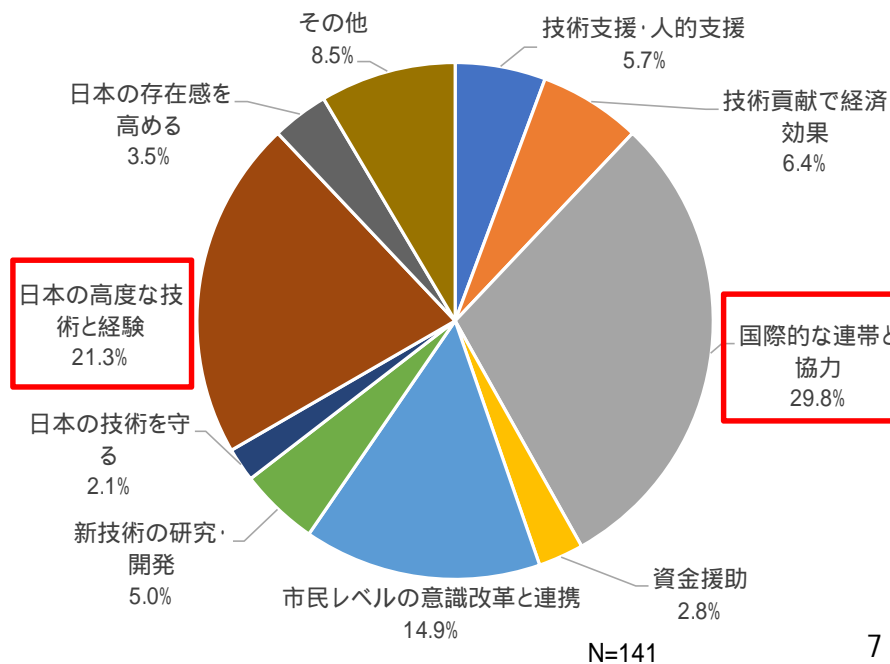
問3 地球規模の課題に対して、我が国としてどのような解決方法を提案できると思いますか

- 提案できる解決方法としては、「日本がこれまで培ってきた技術などの海外への輸出支援」が36.9%と最も高く、次いで「資金面や技術面だけではない、企業、市民、NPO・NGOレベルのパートナーシップの構築」21.3%であった。
- その理由としては「国際的な連帯と協力」が29.8%と最も高く、次いで「日本の高度な技術と経験」21.3%となっている。

我が国が提案できる解決方法として最も優先度が高いもの



その解決方法を最も優先度が高いと考える理由



問3 地球規模の課題に対して、我が国としてどのような解決方法を提案できると思いますか

我が国が提案できる解決方法として最も優先度が高いものとその理由

【日本がこれまで培ってきた技術などの海外への輸出支援】

- 日本にできること、強みであることで貢献できる。また、日本の新しい市場開拓にもつながる。



女性/26歳/正社員・正職員



女性/16歳/高校生

【日本がこれまで培ってきた技術などの海外への輸出支援】

- 日本は技術面でとても進んでいる国である。また、国内でも省エネなどに取り組んでいることもたくさんある。そのためその知識や技術を多くの人に知ってもらうことが大切になる。そして日本が国際社会を引っ張っていける存在になればいいと思っている。



女性/26歳/大学生・大学院生

【各国と協力して、新たな技術開発に向けた研究開発に貢献】

- もしこれが日本発信でプロジェクトとして成功すれば、環境立国日本というようなアイデンティティを確立し、環境問題に対して世界の国々の中での日本のプレゼンスを高めることができる。



女性/22歳/大学生・大学院生

【資金面や技術面だけではない、企業、市民、NPO・NGOレベルのパートナーシップの構築】

- ビジネスなど、与えるだけではない支援、さまざまなアクターによる支援が増えているため、それらを有機的につなげ、そして効果測定をするべき。

【資金面や技術面だけではない、企業、市民、NPO・NGOレベルのパートナーシップの構築】

- 国どうしが環境問題に対処しようとする、どうしても規模が大きくて普通の人からすると創造できないものが多いと感じるので、それよりは多国籍企業や民間組織を活用して身近な活動が増えていけばより環境に気をつけようと思えると思う。姉妹都市同士で協力するなど可能だと思う。



男性/14歳/中学生



女性/16歳/高校生

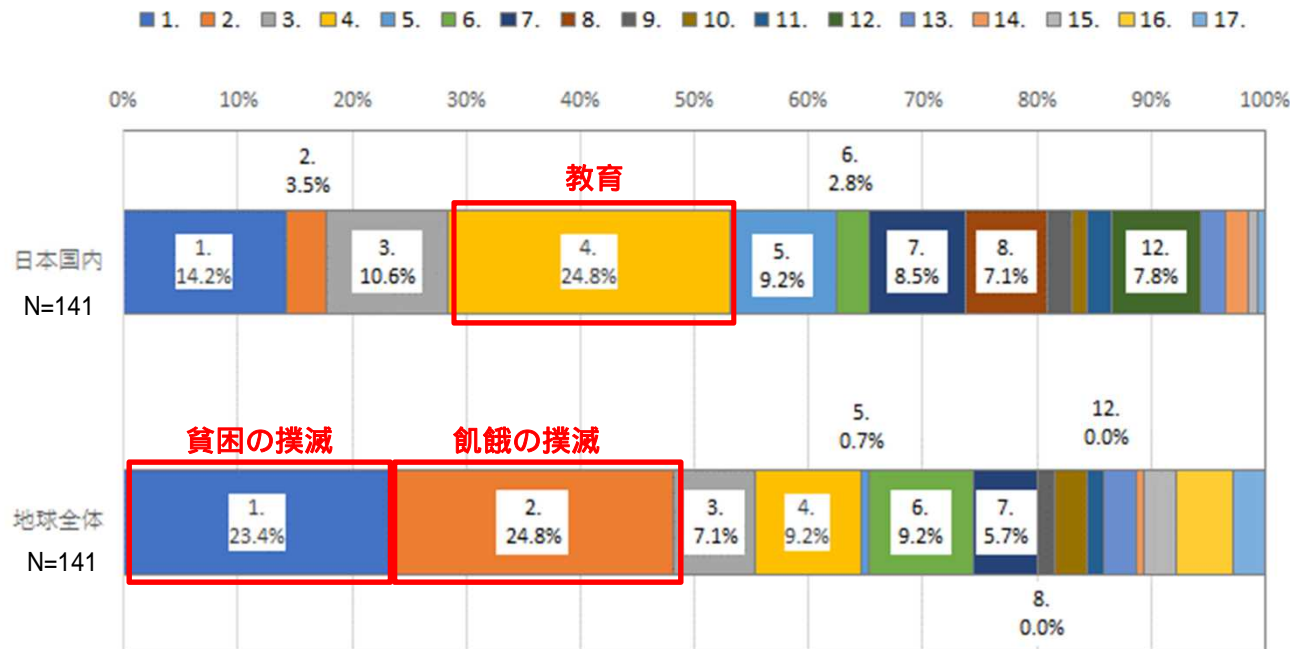
【国連などの国際機関がリーダーシップを発揮すべき】

- 一つの国が頑張っても、なかなか先が見えてこないと思う。だからこそ、国連等が世界全体で対策を進めていく姿勢を示すことが重要だと思う。

問4 「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の目標(ゴール)の中で、あなたがもっとも大切だと思うものは何ですか

- 日本国内と地球全体では、貧困や飢餓の撲滅の面で特に傾向が異なる。日本国内では「教育」(24.8%)が最も大きな割合を占めるが、地球全体では「飢餓の撲滅」「貧困の撲滅」の割合が大きい。
- そう考える理由についても、地球全体では「貧困問題をなくしたいから」が最も多く48.2%を占めるが、日本国内では9.9%となっている。

最も大切だと思う目標(ゴール)



1. 貧困の撲滅 2. 飢餓の撲滅 3. 健康と幸福度 4. 教育 5. ジェンダーの平等 6. 安全な水と衛生の保証
 7. 持続可能なエネルギーの確保 8. 持続可能な経済成長の開発と普及 9. すべての人のための技術の開発と普及
 10. 不平等の削減 11. 安全なまち・地域社会への転換 12. 責任ある消費と生産の確保 13. 気候変動への対応
 14. 海洋資源の保存 15. 地上生態系の保護・回復・持続可能な使用促進、持続可能な森林管理、砂漠化対策、土地劣化の阻止と回復、生物多様性の損失防止 16. 平和で誰もが受け入れられる社会の実現 17. 目標(SDGs)達成のための仕組みと国際協力の強化

そう考える理由(日本国内)

環境・生活が安定して欲しいから	34.8%
社会不安を軽減したいから	29.1%
健やかに過ごしたいから	14.9%
平等な教育が必要だから	13.5%
政治の不安を軽減したいから	5.0%
貧困問題をなくしたいから	9.9%
社会が平等であって欲しいから	4.1%

そう考える理由(地球全体)

貧困問題をなくしたいから	48.2%
環境・生活が安定して欲しいから	27.0%
社会不安を軽減したいから	20.6%
政治の不安を軽減したいから	17.0%
健やかに過ごしたいから	11.3%
平等な教育が必要だから	9.2%
社会が平等であって欲しいから	7.1%

問4 「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の目標(ゴール)の中で、あなたがもっとも大切だと思うものは何ですか

最も大切だと思う目標(ゴール)とその理由(日本国内)

【貧困の撲滅】

- 日本にも貧困が数多くの形態で存在する。絶対的貧困は0にし、相対的貧困をできるだけ減らし、**大格差社会から脱却すべきだ**と思う。私は、現状での大きな格差があると思う。健全な社会の実現には格差の縮小、また精神面の豊かさが重要だ。よって、貧困の撲滅には経済、平等、心など様々な面からのアプローチを大切にしなければならない。その意味では、「あらゆる」形態の貧困を撲滅するというゴールは、優先度が最も高くあってしかるべきだ。



男性/22歳/大学生・大学院生



男性/21歳/大学生・大学院生

【健康と幸福度】

- あらゆる環境問題は、国民の精神的不健康または不幸福感の埋め合わせを目的とした大量消費を促す社会構造が原因と考えられ、**幸福感の向上が環境問題の覚知を促していくことが期待される**ため。



女性/26歳/正社員・正職員

【教育】

- 貧困の原因は教育でもあるから。また、**グローバルで通用する人材の育成・強化が必要**。



女性/17歳/高校生

【教育】

- 教育は現在高校生の私に一番身近なものだと思い選んだ。**公平に、そして何よりも質の良いものが受けられると良いと思う。**



男性/26歳/正社員・正職員

【ジェンダーの平等】

- まだまだジェンダーに捉われた学校教育、社会教育が平然と行われている。女性活躍推進法も、経済効果の観点による「女性」の活用であるから、人権の視点にたった取り組みではない。**ダイバーシティによる価値創造に転換**していかないとグローバルにもついていけないし、どんどん内向きになってしまう。

問4 「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の目標(ゴール)の中で、あなたがもっとも大切だと思うものは何ですか

最も大切だと思う目標(ゴール)とその理由(日本国内:つづき)



女性/15歳/中学生

【持続可能なエネルギーの確保】

- 2011年に原発事故があり、持続可能なエネルギーの重要さがとても感じられ、一方では、日本国内では持続可能なエネルギーの開発があまり進んでいないと思ったから。

【責任ある消費と生産の確保】

- 日本は大量消費・廃棄の社会構造から脱却できていない。現在は質的経済成長に転換しつつあるが、環境収容力を超える経済活動を行えば、環境問題は当然引き起こされる。そこで、環境収容力に見合う適切な経済活動に収束させる必要があると思う。消費、生産活動は経済活動の根幹であり、これらをコントロールすることは経済規模の適正化に最もよく繋がると思う。持続可能な経済活動がなされれば、環境問題が収束することはありえないので、持続可能な経済の取組が最優先だと思う。



男性/20歳/大学生・大学院生

最も大切だと思う目標(ゴール)とその理由(地球全体)

【貧困の撲滅】

- 先進国では相対的貧困、発展途上国では絶対的貧困が問題となっており、地球規模で考えるべきだから。



男性/22歳/大学生・大学院生



男性/23歳/大学生・大学院生

【飢餓の撲滅】

- 飢餓がある状態では、健康で安全な生活が確保されることは無い。まず飢餓を撲滅し、その先に環境問題等を考えるステップになると思う。

【安全な水と衛生の保証】

- アフリカなどは水が汚いため病気になる子供たちも多いと聞く。日本の技術を世界に発信して欲しい。

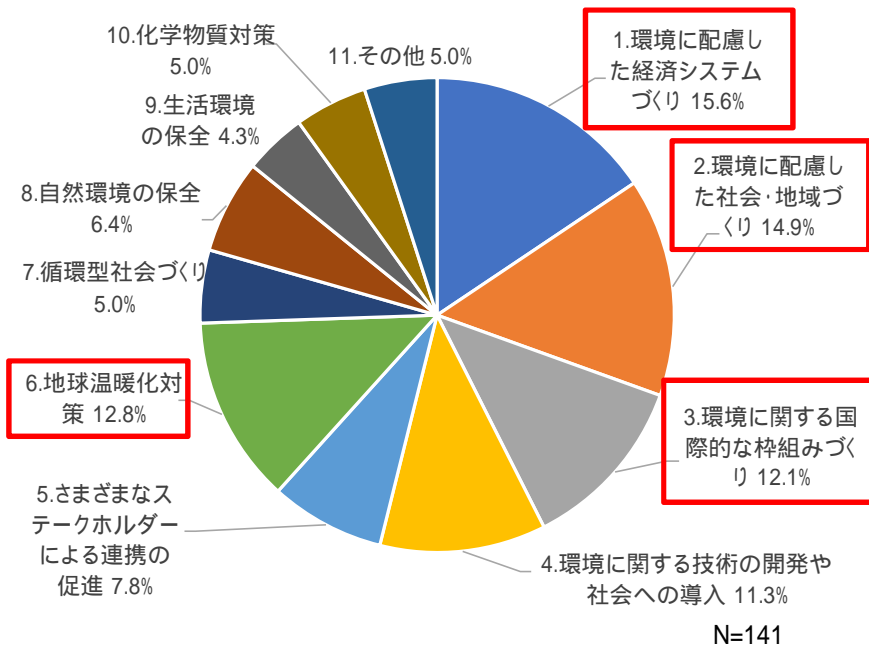


女性/17歳/高校生

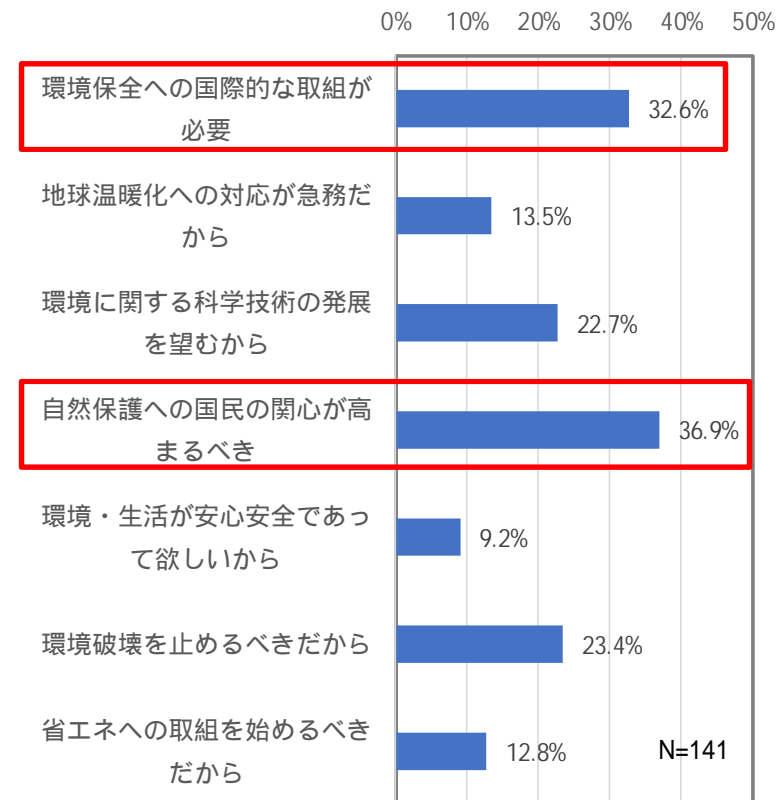
問5 2050年の環境を守る上で大切な取組は何だと思いますか

- 「環境に配慮した経済システムづくり」が15.6%と最も多く、「環境に配慮した社会・地域づくり」14.9%、「地球温暖化対策」12.8%、「環境に関する国際的な枠組みづくり」12.1%が続いている。
- その理由としては、「自然保護への国民の関心が高まるべき」が36.9%と最も高く、次いで「環境保全への国際的な取組が必要」が32.6%であった。

優先度が最も高い取組



その取組の優先度が最も高いと考える理由
(複数回答)



問5 2050年の環境を守る上で大切な取組は何だと思いますか

優先度が最も高い取組とその理由

【環境に配慮した経済システムづくり】

- 日本、世界とも良い経済を目指して活動しているのが現状だと思う。貨幣も導入している現在、人間は生きていくための貨幣獲得に経済活動を今後も行うと思う。よって、**経済システム自体が環境に配慮することが最も効果的**だと考える。経済活動は資源の利用、廃棄物の発生など環境に負荷を与える場面が多々ある。個々人の生命維持活動が経済活動に依存している現在、個々人の取組も必要だが、それ以上に経済そのものが変わらなければ、環境問題は改善しないと思う。また、経済が変化することは生産消費活動にも影響を与える。省エネルギー化、新技術の発達、化学物質の使用抑制、大気汚染・水質汚濁対策にも繋がるのではないか。



男性/20歳/大学生・大学院生



男性/21歳/大学生・大学院生

【環境に配慮した社会・地域づくり】

- 日本における今後の経済を考えた時、人口は増えないので、都市間の移動を増やし、**流動によって経済活動を地方で広げる必要がある**。また、**将来的な地球温暖化・気候変動影響**によって都市間での(安全性をめぐる)競合が起きる可能性もあり、**脆弱性の高い地域はそれに備える必要がある**。

【環境に関する国際的な枠組みづくり】

- 国々で、ではなく、**地球全体で枠組みを決め、世界が1つになって取り組んでいく必要がある**。



女性/21歳/大学生・大学院生



女性/16歳/高校生

【さまざまなステークホルダー(利害関係者)による連携の促進】

- 世界中の国々において、結局のところは**環境開発、資源確保を行っているステークホルダーによって動かされている**。多国間企業による場合や、他国政府の場合もあると考えられる。その資金や思惑が深刻、未発展国の環境開発に大きく影響していると考えられる。

【地球温暖化対策】

- エネルギー問題が改善されれば、他の問題にも大きく影響する**と考えられるから。特に**長期間のスパンで考える**となると、大きな視点で問題解決へ取り組まなければならない。



女性/27歳/正社員・正職員